

秋季流動ダイナミクス知の融合博士学生セミナー報告書

企画室担当 小宮 敦 樹

セミナー日時 : 2009年12月11日(金)13:00~12月12日(土)12:00
場所 : 青根温泉 坊源
参加者数 : 講師2名 教員6名 学生13名 その他1名 計22名

セミナー概要 :

本セミナーの目的は、博士課程大学院生が専門とする学術分野のみでなく、広く、産業・環境・社会・国際問題等に関心を持ち、複眼的視野を持って、積極的、着実かつ大胆に、自らの将来を切り拓いて行く事を支援することである。本学教員、産業界や企業の経営者・現役管理職、事業経営や国際問題のスペシャリスト等を講師として招き、講演と質疑応答を行い、学生が自身の研究内容やGCOEプログラムを通じて得た経験などについて、セミナー参加者全体に紹介する形式のワークショップとする。

今回は三菱電機株式会社より 三神泉 技師長をお招きし、ハワイ島マウナケア火山に建てられた望遠鏡「すばる」に関する講演をしていただき、講演を通して巨大プロジェクトにおけるプロジェクトマネージャーの役割とプロジェクト進行における諸問題等をお話いただいた。普段、大学の講義等では聴くことのできないトピックということもあり、参加学生からは様々な質問があった。技術的な質問はもちろんのこと、プロジェクトマネジメントに関する質問も数多くあった。

三神技師長による講演ののち、参加者学生から、

1. リヨンサマースクールの参加報告
2. 国際宇宙大学サマーセッションプログラム参加報告

があった。これらはグローバルCOEの活動の一環として行われている学生参加・派遣プログラムであり、今年度参加した学生より報告があった。それぞれ、プログラムの目的・意義をよく理解して参加し、十分な成果を挙げられたと考えられる。

初日の講演終了後は、教員および学生が一堂に会しての食事会となった。参加学生にとっては、食事を取りつつ、講師の先生方と有意義な議論を行うことができた場となった。

セミナー2日目には、流体科学研究所 太田信 准教授から自身のポストドク時代の経験を中心に、研究への取り組み方についてのお話があった。参加者の多くは博士課程後期学生であるので、太田准教授の講演は、大変身近な内容として捉えたに違いないであろう。太田准教授の講演についても多くの質問があった。

今回の秋季セミナーでは2名の講師を呼び、参加学生にとっては、それぞれの講演から学べるものが非常に多かったのではないかと考えることができる。運営の面においては、今回のセミナーで明らかとなった問題点も少なからず有り、その点は次回以降のセミナーで改善をしていくこととする。



三神技師長による講演



太田准教授による講演